



2008年1月23日
三菱レイヨン株式会社

排出権信託受益権の取得について

三菱レイヨン株式会社(本社:東京都港区、社長:鎌原 正直)は、カーボン・オフセットを目的として、三菱UFJ信託銀行(本社:東京都千代田区、社長:上原 治也)より二酸化炭素換算5,000トン相当分の排出権信託受益権を取得いたしました。

当社では、地球温暖化防止のため、エネルギーに関する消費原単位を2010年度までに1990年度の90%以下にするなどの目標を掲げ、エネルギーの活用に取り組み、各生産現場でのエネルギー消費原単位については確実に向上してきています。一方、温室効果ガスの排出削減については、現在、種々対策を進めているところですが、その一環として、本支店から排出される温室効果ガスを三菱UFJ信託銀行が販売する排出権信託商品を取得することでカーボン・オフセットするものです。

また、今回、排出権信託受益権を取得するメリットは、1)小口でも取得可能であること、2)取得時、取得後の事務・管理手続きが軽減されること、3)京都議定書遵守目的にも活用が可能なことが挙げられます。

※カーボン・オフセットとは

直接的な施策によって削減できない温室効果ガスを、植林やクリーンエネルギーなどの事業に投資するなどして、その排出量を相殺(オフセット)する仕組みのことで、当社では、自社設備ではないため、ハード的な対策を打つことが困難な本支店から排出される温室効果ガスを削減対象としました。

【内容】

- 排出権 :三菱UFJ信託銀行が販売する排出権信託受益権
- 排出権の種類 :「韓国ウルサン市におけるハイドロフルオロカーボン(HFC)類の破壊プロジェクト」
(国連CDM(クリーン開発メカニズム)理事会承認番号 003)
- 取得量 :二酸化炭素換算 5,000トン相当分
- オフセット量 :本支店排出量 年間約1,000トンを2006年度から2010年度まで毎年オフセットを実施

***** 本件に関するお問い合わせ先 *****

三菱レイヨン株式会社 広報・IR室 電話:03-5495-3100